

# 地方創生の取り組みが地域地域で持続可能なものとなることを目指して

## 主旨

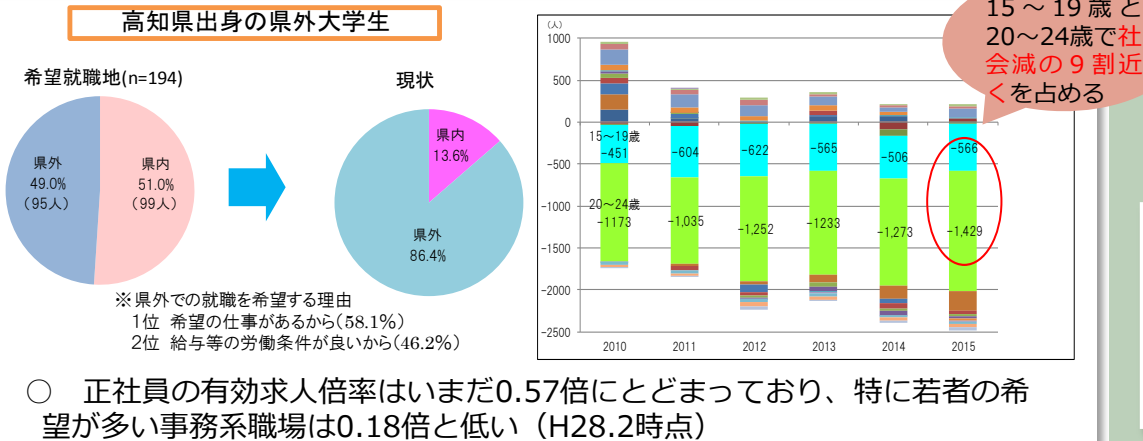
- 各自治体では、平成27年度より「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生の取り組みを強化したところですが、それぞれに定めた2,060年の人口の将来展望を実現させ、人口減少の負の連鎖を断ち切るためには、この地方創生の取り組みを持続可能なものとしていくことが重要です。
- そのためには、「地方創生」の推進を通じて生まれてきた新たな取り組みを「拡大再生産」のループに乗せ、より力強いものにしていくことが重要です。
- 高知県では、この考えの下、平成28年度から「地産外商」の取り組みをさらに強化するとともに、「拡大再生産」のための3つのポイント、①担い手の育成・確保 ②地域産業クラスターの形成 ③起業・新事業展開の促進 による取り組みを抜本強化しています。  
この3つのポイントは、人口減少の負の連鎖に苦しむ自治体では、特に重要な取り組みであると考えています。
- ついては、国の各政策にこうした考え方を取り入れるとともに、地方における取り組みを支援していただきますよう、提言します。

## 高知県の状況

### 課題1 新たな動きに対応する中核人材等を十分に確保できていない

- 中核人材
  - ・ 事業承継・人材確保センター(※)への相談件数  
H27年度244件、うち人材確保に関する相談137件
  - ・ 就職者数11人/登録求人数137人 = 充足率8.0% (H27年度)  
※事業を継続・発展させていくために必要な人材の確保を支援するためにH27.4月に設置
- UIターン
  - ・ 就職者数32人/登録求人数872人 = 充足率3.7% (H27年度)
- 休廃業・解散
  - ・ H26年度の休廃業等の件数は212件と、倒産件数51件の約4倍

### 課題2 地域に若者が希望する仕事が少ない



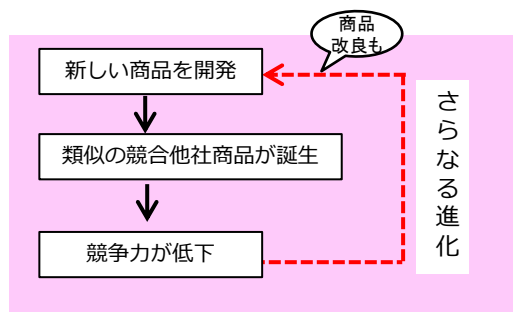
- 正社員の有効求人倍率はいまだ0.57倍にとどまっており、特に若者の希望が多い事務系職場は0.18倍と低い (H28.2時点)

### 課題3 持続的な発展のためには事業者の健全な新陳代謝が必要

- 事業所数が減少 (雇用保険関係事業所数の推移)



- 常に進化し続けることが必要



### 拡大再生産のための3つのポイント

#### ポイント① 時間軸的な「拡大再生産」

#### 「担い手の育成・確保」

移住施策とも連動し、後継者や担い手の育成・確保に取り組むことにより、各産業の取り組みを継続・発展させる

### 国の支援を特にお願いしたい点

#### <支援のポイント>

- 都市部の人材の地方への還流
- 特に、地産外商の拡大に伴いニーズが増えている中核人材の都市部人材とのマッチング。特に都市部人材のストック

【提言】

- ① **中小企業等の人材確保に関する総合的な支援対策の充実**

#### ポイント② 量的な「拡大再生産」

#### 「地域産業クラスターの形成」

地域に根差した第一次産業や観光などを核として、その周りに様々な産業を集積させることにより、**第一次産業から第三次産業までの多種多様な仕事を**生み出す

#### <支援のポイント>

- クラスタ形成の核となる施設整備等への財政支援のさらなる充実
- 商工会・会議所のサポートによるクラスターへの地域の商工事業者の参画

【提言】

- ② **小規模事業者の持続的発展をさらに拡大させるための取組に対する支援**
- ③ **地域に根差した第一次産業クラスター形成による地方創生への支援**

#### ポイント③ 質的な「拡大再生産」

#### 「起業・新事業展開の促進」

起業や新事業展開を促進することにより、地域の持続的な発展をもたらす

#### <支援のポイント>

- 地方拠点強化税制の拡充強化
- スタートアップ時における事業資金の調達
- ビジネスプランの磨き上げやフォローアップのための全国的な視点からの専門家のアドバイス

【提言】

- ④ **地方への企業移転の促進**
- ⑤ **地方での新事業展開や小規模な起業の促進**

# 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成28年度版>の構成

## 1 高知県の現状と目指すべき方向

- (1) 高知県の現状
- 人口動態の現状と分析 ⇒ 人口減少に伴う負の連鎖
- (2) 目指すべき方向
- 人口の将来展望(2060年)の見通し 約557千人
  - 目指す姿** 地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

## 2 総合戦略の位置付けと地方創生に向けた本県の基本的な考え方

- (1) 総合戦略の位置付け
- 負の連鎖の克服に向けた本県のこれまでの取り組み
  - 総合戦略の位置づけ
- (2) 地方創生に向けた本県の基本的な考え方

**基本目標1** 地産外商により安定した雇用を創出する

**基本目標2** 新しい人の流れをつくる

**基本目標3** 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

**基本目標4** コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

## 3 総合戦略の効果的な推進

- (1) 総合戦略の策定・推進に当たっての5つの視点
- ◆総合戦略の策定にあたっての視点
  - ① 川上から川下までの総合的な仕組みを構築・強化する
  - ② 政策同士の連携を積極的に図ることで、相乗効果を発揮し、プラスのスパイラルを生み出していく
  - ③ 成果(アウトカム)を重視した数値目標の設定とPDCAサイクルによる徹底した進捗管理・バージョンアップを行う
- ◆総合戦略の推進に当たっての視点
  - ④ 官民協働、市町村との連携協調により取り組みを進める
  - ⑤ 県外とのネットワークを広げ、県外から多くの人材や知恵、資本を呼び込む

- (2) 進捗管理体制
- 産業振興推進本部などの庁内組織、外部委員で組織する「高知県産業振興計画フォローアップ委員会」において、PDCAサイクルにより取り組み状況を点検・検証 ⇒必要な対策の追加、見直しを行い、毎年、改定

- ※高知県産業振興計画フォローアップ委員会の構成 産・官・学・金・労・言の広範な分野の委員が参画
- 基本目標の達成に向け、PDCAサイクルを回していくに当たっては、次の3つの視点からチェック
- ①一つひとつの施策・事業について、PDCAシートを作成し、四半期ごとに取り組み状況を確認
- ②施策・事業がまとまった政策群ごとに、施策間の有機的な連携(施策のパス回し)を確認
- ③政策群ごとに、目標達成に向けた状況を確認

## 4 基本目標と基本的方向、具体的な施策

《基本目標と基本的方向》 高知県産業振興計画

**基本目標1** 地産外商により安定した雇用を創出する

**数値目標** **new** 各産業分野における産出額等の増加  
雇用の創出 4000人 (H28~H31の4年間)  
現状:H21~27の7年間で県が定量的に把握5,491人

●「地産外商」の取り組みをさらに強化し、その流れを力強い「**拡大再生産**」の好循環につなげる

【基本的方向】

**1.地産の強化**

- 農業、林業、水産業の振興 ○外商機会を逃さない食品加工のバリエーションアップ
- ものづくり力、商品力のさらなる強化 ○紙産業の競争力の強化
- 地域アクションプランの推進 ○観光商品づくりの強化

**2.外商の強化**

- 外商支援の全国展開 ○輸出促進の本格化
- 県外・海外からの観光客の増加

**3.「地産」「外商」の成果を「拡大再生産」につなげる**

- 担い手の育成・確保
- 地域産業クラスターの形成
- 起業や新事業展開の促進

**new** 主なKPI 第3期高知県産業振興計画(参照)

**基本目標2** 新しい人の流れをつくる

**数値目標** **new** 平成31年に社会増減をゼロにする  
現状:▲1,966人(H21~H27の平均(H22を除く))

【基本的方向】

**1.県内大学生等の県内就職の促進**

**new** 主なKPI 県内高校生の県内就職率 75% 現状:62.3%(H27.3)  
県内専門学校生の県内就職率 80% 現状:77.8%(H27.3)  
県内大学生等の県内就職率 42% 現状:35.2%(H27.3)  
県出身の県外大学生の県内就職率 30% 現状:13.6%(H27.3)

**2.県外からの移住促進**

**new** 主なKPI 県外からの移住者数 1000組 現状:445組(H27.2)

**基本目標3** 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

**数値目標** **new** 合計特殊出生率 1.61 現状:1.45(H26)

【基本的方向】

**1.より多くの方が、より希望する時期に安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会の構築**

**new** 主なKPI 理想の子どもの数と現実には持たない子どもの数の上昇と差の縮小  
現状:理想2.58人・現実2.17人(H26)  
平均初婚年齢の年齢低下 現状:夫30.6歳、妻29.3歳(H25)

**2.女性の活躍の場の拡大**

**new** 主なKPI 高知家の女性しごと応援室における就職率 60%  
現状:53.7%(H26)  
ファミリー・サポート・センターの設置市町村数 13市町村  
現状:1市(H26)

**基本目標4** コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

**数値目標** **new** 集落活動センターの開設数 80カ所 現状:17カ所(H26)  
あったかふれあいセンターの整備 34市町村53カ所  
現状:28市町村38カ所(H26)

【基本的方向】

**1.中山間地域での小さな拠点の整備促進、都市のコンパクト化と周辺等の公共交通ネットワークの形成**

**2.コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークの形成**

## 《具体的な施策》 それぞれの施策でKPIを設定

- 1.「地産」の強化**
- (1) 農業の振興
- ①次世代型こちろ新施設園芸システムの普及推進
  - ②農地の確保(園芸団地の整備促進など)
  - ③中山間農業複合経営拠点の整備、集落営農の推進
- (2) 林業の振興
- ①生産性の向上による原木の増産
  - ②加工体制の強化(CLTパネル工場、集成材工場)
  - ③小規模林業活動の推進
- (3) 水産業の振興
- ①効率的な沿岸漁業生産体制への転換
  - ②日本一の種苗生産・中間育成拠点の形成
  - ③新規漁場の開拓
- (4) 外商機会を逃さない食品加工のバリエーションアップ
- ①新事業創出に向けた新たなプラットフォームの設置
  - ②商品づくりや生産管理高度化支援による市場ニーズへの対応
- (5) ものづくり力、商品力のさらなる強化
- ①ものづくり地産地消・外商センターによる一貫サポート、事業戦略の策定・磨き上げ支援
  - ②防災関連産業の振興
  - ③ものづくりの地産地消のさらなる推進
- (6) 紙産業の飛躍的な成長の促進
- (7) 地域アクションプランの推進
- (8) 観光商品づくりの強化
- ①歴史博覧会の開催を通じた歴史資源のリアル化と観光クラスター化
  - ②地域博覧会の開催を通じた広域観光推進体制の確立
  - ③外国人向け旅行商品づくりの抜本強化
  - ④アウトドア拠点の整備
- 2.「外商」の強化**
- (1) 外商支援の全国展開
- ①地産外商公社を中心とした食品分野の外商拡大
  - ②高知家プロモーションとの運動による外商の加速化
  - ③ものづくり地産地消・外商センターによる外商促進(東京営業本部の設置)
  - ④<農業>規模に応じた販路開拓、加工専用素材ニーズへの対応<林業>木材需要の拡大(CLTの普及、低層非住宅建築物の木造化の推進)、県外流通拠点を活用した取引拡大<水産業>「高知家の魚応援の店」等を活用した取引拡大
- (2) 輸出促進の本格化
- ①国・地域別の輸出拡大 ②品目別の輸出拡大
- (3) 県外・海外からの観光客の増加
- ①効果的なセールス&プロモーションの展開
  - ②国際観光の推進
- 3.「地産」「外商」の成果を「拡大再生産」につなげる**
- (1) 担い手の育成・確保
- ①「事業承継・人材確保センター」による中核人材の確保や円滑な事業承継のサポート
  - ②農業担い手育成センター、林業学校による人材育成・確保
  - ③産地提案型を核とした園芸産地の担い手確保対策
  - ④民間企業や漁協が行う漁業の担い手の育成の支援
- (2) 地域産業クラスターの形成
- ①各分野における地域産業クラスターの形成
  - ②さらなる設備投資による事業拡大
- (3) 起業や新事業展開の促進
- ①産学官民連携センターにおける起業支援
  - ②新たな相談窓口の設置など支援策の抜本強化

- 1.県内大学生等の県内就職の促進**
- (1) 学生への情報発信
- ①県内企業情報の提供の仕組みの確立
  - ②協力企業等の積極的な開拓
- (2) 高知の企業等を知ってもらうための取り組み
- ①学生が企業を知る場の提供
  - ②保護者に対する情報提供
- (3) 高知の企業等への関心を高めるための取り組み
- ①インターシップなどマッチング支援
  - ②県内企業と大学生との交流の場づくり
- (4) 高知の企業へ就職してもらうための取り組み
- ①求職者と求人企業とのマッチング
  - ②奨学金を活用した産業人材確保
- 2.県外からの移住促進**
- (1) 高知を知って・好きになってもらうための取り組み
- ①マス・ターゲットを対象にした情報発信の強化
  - ②潜在的な移住関心層を対象とした情報発信の強化
- (2) 移住に関心を持ってもらうための取り組み
- ①高知ファンに対する情報発信の強化
  - ②顕在的な移住関心層を対象とした情報発信の強化
- (3) 主体的な行動に移ってもらうための取り組み
- ①関心から相談、暮らし隊員への誘導の強化
  - ②人財が人財を呼ぶ好循環を仕掛けていく取り組みの展開
- (4) 移住について真剣に考え決めてもらうための取り組み
- ①相談から移住までの誘導の強化
  - ②各地域における移住希望者の受入体制のさらなるレベルアップ
- (5) 安心して住み続けてもらうための取り組み
- ①移住後のフォロー体制の強化

- 1.より多くの方が、より希望する時期に安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会の構築**
- (1) より多くの方が「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる
- ①民間企業等と協働した少子化対策の新たな展開
  - ②総合的な結婚支援策の抜本強化
- (2) より早く、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望を叶える
- ①結婚や子育てを支援する機運の醸成
  - ②総合的な結婚支援策の抜本強化(再掲)
- (3) 理想とする子どもの人数の希望をより叶える
- ①第1子の壁の解消に向けた取り組み
  - ②第2子の壁の解消に向けた取り組み
  - ③第3子の壁の解消に向けた取り組み
- 2.女性の活躍の場の拡大**
- (1) 家庭における男女共同参画の推進
- ①男女共同参画に向けた啓発の強化
- (2) 地域における子育て支援の充実
- ①多機能型の家庭的保育等事業所の設置・拡大
  - ②ファミリー・サポート・センターの充実
- (3) 多様なニーズに応じた就労支援
- ①高知家の女性しごと応援室によるきめ細やかな就労支援
- (4) 男女がともに働きやすい職場づくり
- ①民間企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進
  - ②経済団体等と連携した女性の登用・継続就職の促進
  - ③女性の活躍を経営戦略の視点で理解、行動してもらうための啓発

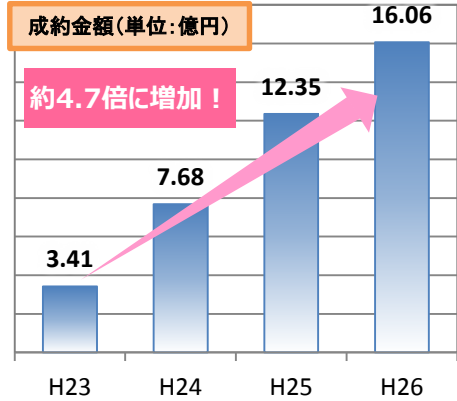
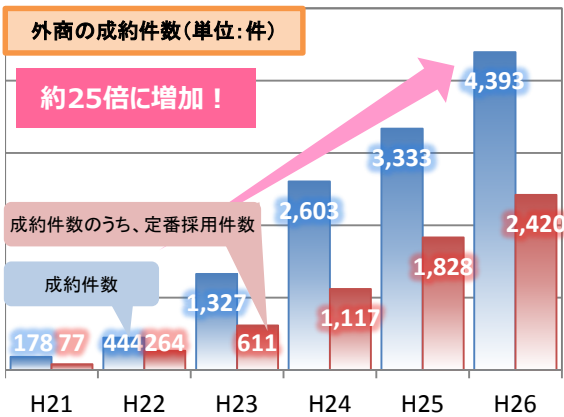
- 1.中山間地域と都市の維持・創生**
- (1) 小さな拠点の設置
- ①集落活動センターの普及・拡大、取り組みの支援
  - ②あったかふれあいセンターの整備・機能強化
- (2) 中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援
- (3) 鳥獣被害対策の推進
- (4) 中山間地域の生活支援
- (5) 中山間地域の未来を担う人材の育成・確保
- (6) 都市部の経済・生活圏の形成
- 2.コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークを県土全域にはりめぐらせる**

# 高知県産業振興計画の取り組みによる成果

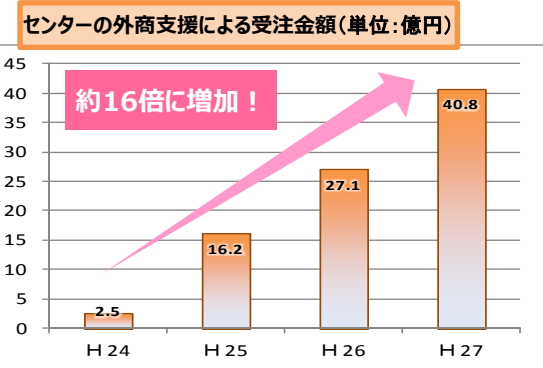
[第1期：平成21年度～23年度 第2期：平成24年度～27年度]

## 各分野で地産外商が大きく前進

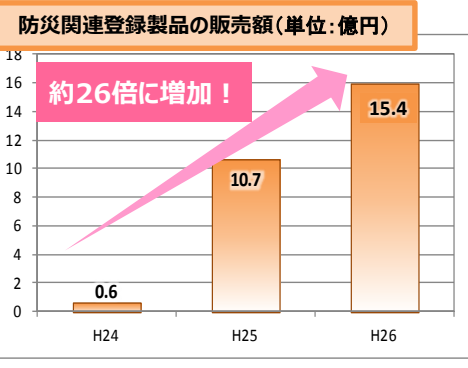
地産外商公社等のサポートにより外商が飛躍的に拡大



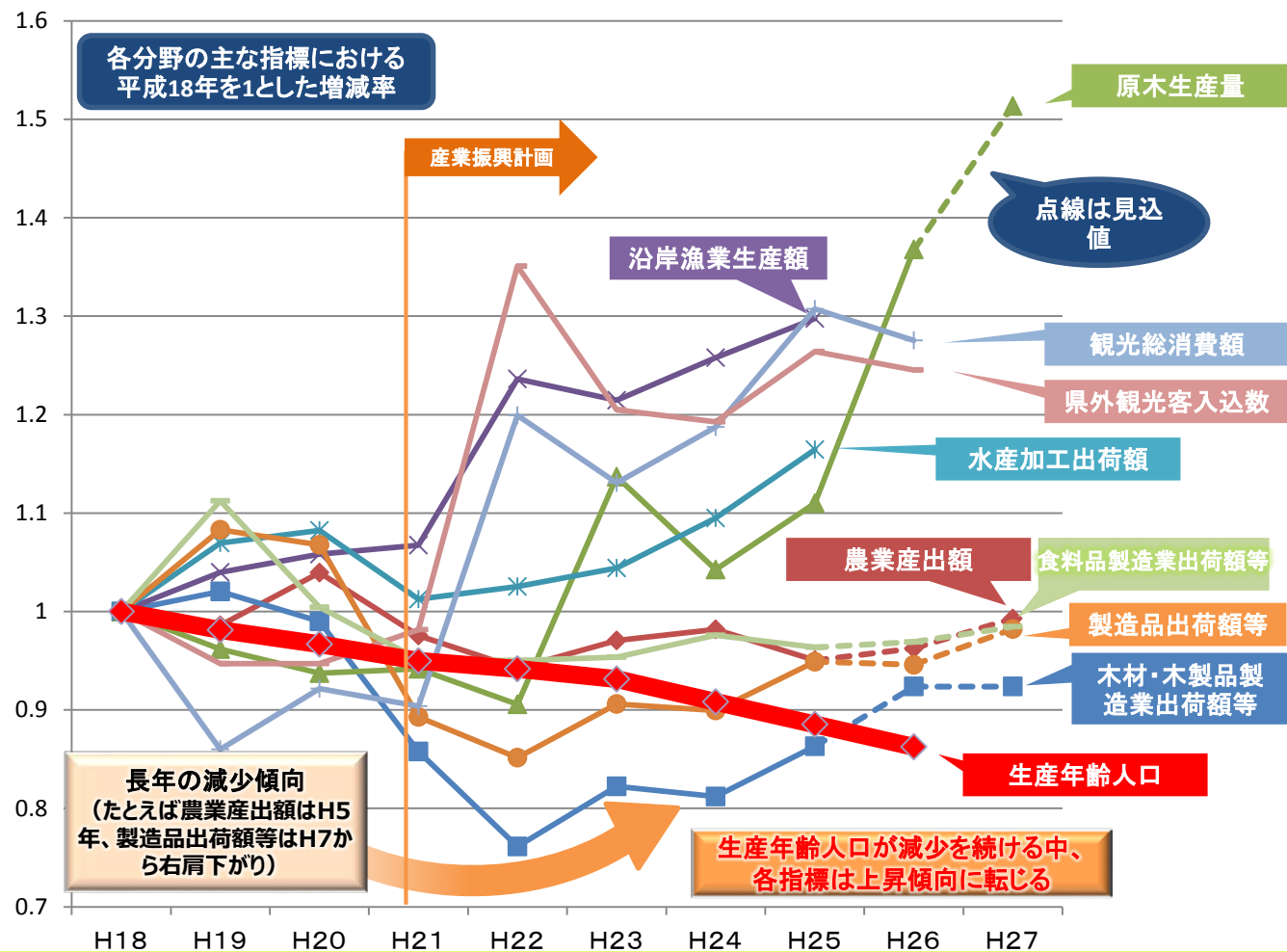
ものづくり地産地消・外商センターの一貫サポートにより外商が大きく前進



防災関連産業が新たな産業として大きく成長



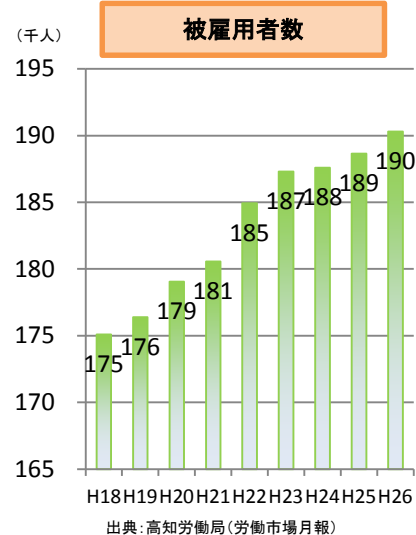
## 各分野の産出額等が上昇傾向に転じる



## 地産外商の拡大などにより新たな雇用が増加

県が定量的に把握できているものだけでも以下の雇用を創出。これ以外にも、観光振興や地産外商の拡大により多くの雇用創出が見込まれるところ

- 地域アクションプラン(H21～H26) : 1,074人
- 企業立地(H21～H27.7月) : 1,970人  
[フル操業時の雇用創出計画値]
- 設備投資促進事業(H24～H26) : 77人
- 成長分野育成支援事業(H21～H26) : 133人
- 第一次産業の新規就業者(H21～H26) : 2,092人  
[農業1,337人、林業493人、水産業262人]
- その他(次世代施設園芸団地、木質バイオマス発電所等※) : 145人  
※今後の計画を含む



## 経済全体は良い方向に向かっている



# 第3期高知県産業振興計画の戦略

これまで

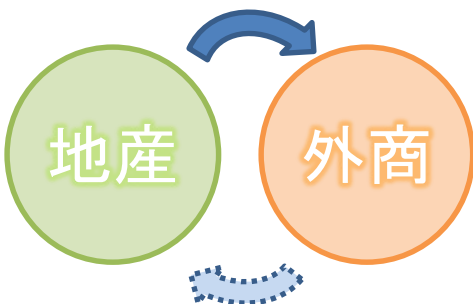
第3期産業振興計画

「地産外商」の取り組みをさらに強化し、  
その流れを力強い「**拡大再生産**」の好循環につなげることを目指す!

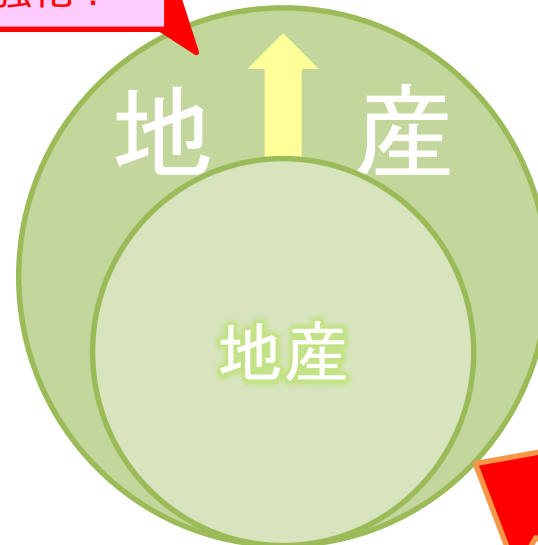
新技術の導入等により  
地産をさらに強化!

全国や海外への販  
路開拓等により外商  
をさらに強化!

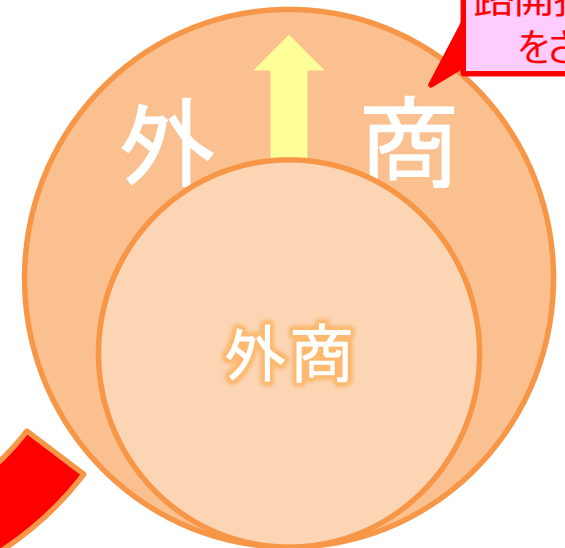
【成果】  
地産外商が進み、長年  
にわたって減少傾向にあっ  
た各分野の産出額等が  
上昇傾向に転じる



第3期計画は、  
「飛躍への挑戦」を  
新たなステージへ!



第1次産業から第3  
次産業までの多様な  
仕事を地域地域に数  
多く生み出す



拡大再生産

に向けた施策の強化

次の3つのポイントで施策を抜本強化することにより、「拡大再生産」への流れをより大きなものにしていく

強化ポイント①  
時間軸的な拡大再生産  
「担い手の育成・確保」

強化ポイント②  
量的な拡大再生産  
「地域産業クラスターの形成」

強化ポイント③  
質的な拡大再生産  
「起業や新事業展開の促進」

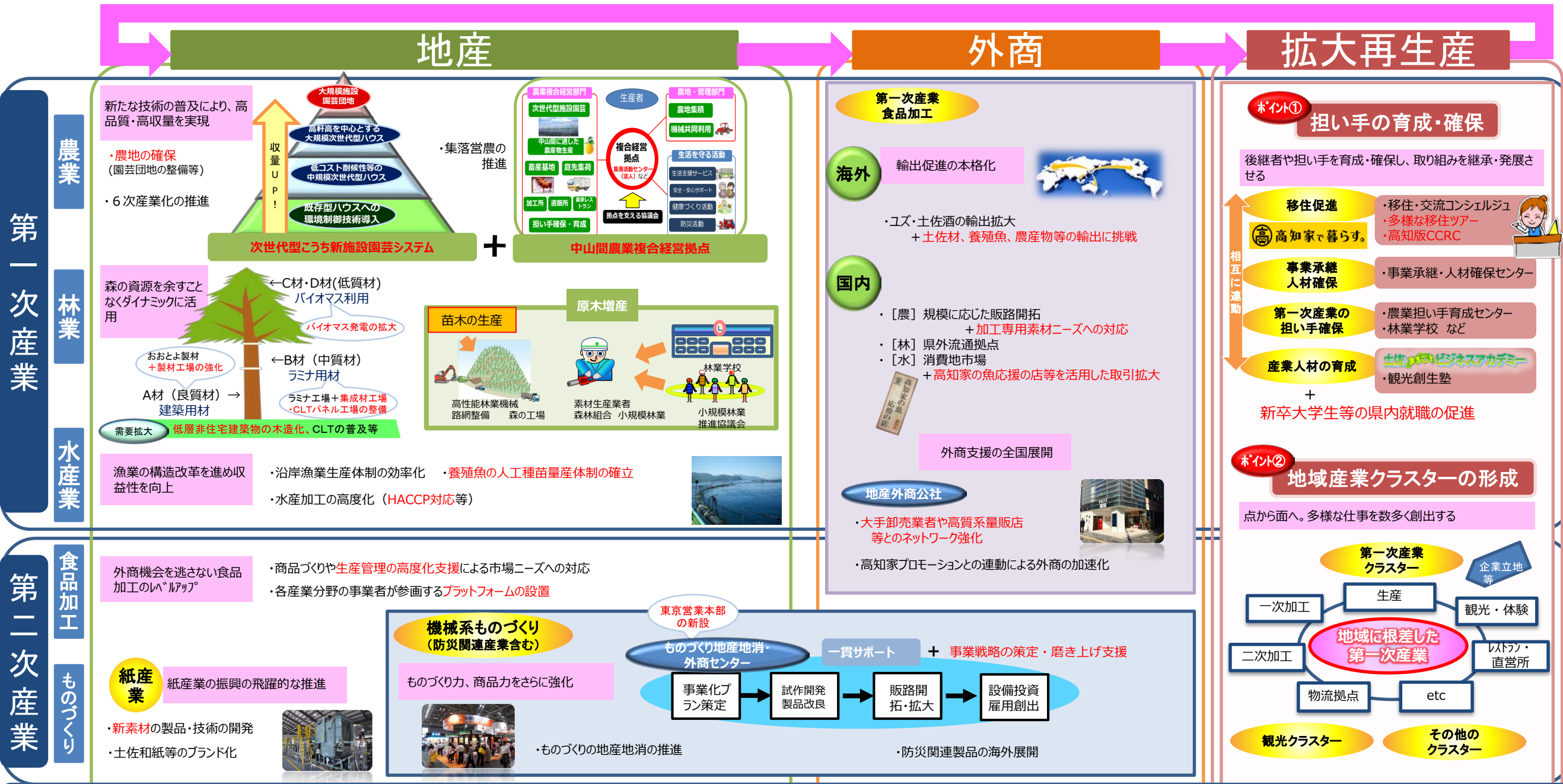
【課題】  
「地産」と「外商」の取り組  
みは拡大してきたが、さら  
に、より確実に「拡大再生  
産」につなげられるかどう  
かがこれからのポイント

# 第3期高知県産業振興計画 全体の展開図

## 《飛躍への挑戦を新たなステージへ！》



- 第3期計画では「**地産外商**」の取り組みをさらに強化するとともに、その流れをより力強い「**拡大再生産**」の好循環につなげるための取り組みを抜本強化
- この拡大再生産では「**担い手の育成・確保**」「**地域産業クラスターの形成**」「**起業や新事業展開の促進**」の3つを特に重要なポイントとして強力に推進



**地域アクションプランの推進** H28:234件のプランを推進

- ・地域地域で地域資源を活かした食品加工、観光商品づくり等を推進
- ・外商に挑戦
- ・地域アクションプランを土台とした地域産業クラスターの形成

